

平成27年度

決算審査特別委員会



これがマイナンバーカードです

- 健康と福祉**
- Q** 一般管理職給与事業の内訳は。
 - A** 正職員190人、臨時職員135人、嘱託職員58人。
 - Q** 町内放送が聞こえないという声を聞く。防災ラジオのPRをもっとすべきではないか。
 - A** 広報やメールなどで周知していく。
 - Q** 町内のフェイスブックに行事を載せる際の基準はどうなっているのか。
 - A** 各課から依頼があった行事のみを掲載している。
 - Q** 川の水位確認のための防犯カメラはどこに設置しているのか。
 - A** 瀬野川、三迫川、尾崎川に設置し、役場で監視している。
 - Q** 現在の消防団員数は。
 - A** 平成27年度は定員が125人で団員数は98人。
 - Q** 災害時要援護者台帳について、個人情報提供の同意はどれくらい得られているのか。
 - A** 対象者の61パーセントで1589人。



水位監視にも役立てています（●印）

- Q** 収納率は変わっていないのに国保税収が減少した要因は。
- A** 被保険者数が減少したため。
- Q** レセプト（診療報酬明細書）点検での成果は。
- A** 過誤が1791件あり、1165万円分削減できた。
- Q** ジェネリック医薬品（後発医薬品）普及啓発の効果は。
- A** 約1000件の切り替えがあった。
- Q** 私立保育所費の残（不用額）が多かったのはなぜか。
- A** 定員は満たしていたが、3歳未満児の入所者数が見込みより少なかったため。
- Q** マイナンバーカードの交付枚数は。
- A** 1137枚、3.9パーセントの交付（国平均2.1パーセント、県平均2.4パーセント）。
- Q** 介護予防二次予防対象者の選定と支援内容は。
- A** 生活機能が低下しているおそれのある65歳以上の高齢者について、筋力向上教室や口腔機能改善などの指導を行い、健康保持促進を支援した。
- Q** 特定健康審査の受診率が伸び悩んでいるが原因と改善策は何か。
- A** 毎年ハガキでの通知、保健師・管理栄養士の受診勧奨だけだったが、新たに情報提供事業を展開したので、医師と連携を取りながら受診者を増やす。
- Q** ポルトガル語ができる講師派遣の対象児童生徒は何人。
- A** 9人。
- Q** 小学校教育指導員の配置はどうか。
- A** 各校に2人ずつ。
- Q** クラシックコンサート事業の参加者数は。
- A** 141人。
- Q** 中学校競技力向上対策事業をしたことで、クラブの部員数は増えたのか。
- A** 把握していない。成果はあったか。
- Q** 海田中学校は県陸上大会のハードル走で1位、中学校は足立杯争奪軟式野球大会で3位と、優秀な成績を残している。



足立杯でがんばりました



「いいね！」を待ってます